

お産&子育てサポート

発行・編集
お産&子育てを支える会
代表 齊藤智孝
編集者 東直美
TEL/FAX 090-7103-2240



「孫育休」で子育てサポート

父母が取る“育児休暇”を祖父母にまで拡大する企業や自治体が出てきているそうです。産後実家に里帰りする習慣が日本には古くから有ります。産後の慣れない子育てを祖父母(赤ちゃんからみて)にサポートしてもらいながら、体調の回復をはかるのが目的だと思うのですが、最近では実家に帰っても祖父母は仕事で昼間は産後のお母さんと赤ちゃんだけの状態が珍しくありません。「ご飯と掃除と洗濯だけでもしてもらえらるし、まあ良いか。」なんていう声をよく聞きます。「でも、赤ちゃんが2人だけになると、心配、いつ泣かれるか、泣いたらどうしようって思う」とも聞いたことがあります。実際に第1子が3歳になるまでに、母親(祖母)の手助けを受けたという夫婦の割合は、約6割に上っている(国立社会保障・人口問題研究所の出生動向基本調査より)そうです。そんな現状を踏まえてか企業や自治体が祖父母の育児参加を促す休暇制度「孫育休」が広がっているそうです。大手食品メーカー「江崎グリコ」(大阪市)では2019年3月導入、精米機器メーカーの「サタケ」(広島県東広島市)は、社員に孫が生まれたら、10日以内に3日連続で取得できる「イクじい・イクばあ休暇」があり、高知市のフクヤ建設は、有休の一部を「GG・BB休暇」と名付け、孫のための取得を奨励しているそうです。日本で初めて孫休暇を導入した都道府県は宮城県で、他にも福島県郡山市も設けています。岡山県では、「孫育て休暇奨励金」という制度が導入され、企業が従業員に孫育て休暇を1日以上与えた場合、奨励金5万円が支給されるそうです。このように子育てに祖父母の協力を得やすいよう、企業や自治体が取り組み始めており、ドンドン広がることを願います。孫休暇を取り入れている企業や自治体ではパパ育休取得率が上昇したり、若い親世代も育児のために休みやすくなったという相乗効果が表れてきているそうです。

ただ、その休暇期間が短いと2日、長くても8日。せめて1ヶ月ぐらいいただけないものでしょうかね。



「命を産む」～朝比奈順子助産師が自然のお産を語る～

私は現在80歳、産婆(助産師)です。今回お産についてお話しするにあたり、私の長い助産師生活の経験談をお話したいと思えます。お陰様で私は今、80歳です。長い時間生かさせて頂き感謝しております。



私事、脳卒中

実は大変恐縮ですが、私事についてお話しさせて下さい。

2020年2月15日、一人の自宅出産、超安産でお産まれの直後、私の左手がくるくる回り、新しい手袋を替えることができなくなったのです。私は最初「直ぐに手袋を替えることができるだろう」と、安直に考えていました。ところがなかなか新しい手袋を替えることができず「あつもしかして私は二度目の脳卒中かも知れない」と直感したのです。そうして、自宅出産の家のご主人に「お産したお母さんも、赤ちゃんも異常ありません。しかし、私が二度目の脳卒中をおこしていると思うので急救車を呼んでください」と冷静に言いました。救急車は15分ほどして到着し、近くの医療センターに搬送されました。

翌日、私の左手足は麻痺し、ベツタリ、ベツトから動きません。左半身不随であることを知りました。右の脳の視床の脳出血でした。



私は9年前にも脳出血をしたことがあり、その時は脳の被殻部でした。しかし後遺症は軽く、入院して2日目に点滴を持ちながら病院の廊下を歩行練習していました。そして3日目には病院を自己退院し、次の日は近くの神社の山登りが私のリハビリでした。



それから9年、77歳で二度目の脳卒中でした。実は私の父が二度目の脳卒中で意識戻らずに逝ってしまいました。もしかして父と同じようになるかもと、チョット怖かったです。しかし幸いな事に、私は意識も言語もしっかりしており、話もできました。生かされた事に心から感謝し、そして、何か使命が有るのかもしれないと感じるようになりました。

産婆から助産婦

私は1966年に助産婦学校を卒業して、病院の助産婦、助産婦学校の教師、開業の助産婦と50年以上助産婦を続けてきました。戦前、戦中は助産婦ではなく産婆と呼ばれていました。しかし戦後GHQが産婆の学校を閉鎖させ、お産は病院で医師が主体的とする様に推奨したのです。ですから、正常な自然なお産を医師がするようにかわって来ました。それまでは、産婆がお産する時に何かあったら医師が駆けつけ産婆への支援をしてきたのです。



1948年GHQは保健婦助産婦看護婦法を制定し、産婆は助産婦に名称が変わりました。私は1966年、昭和41年に助産婦学校を卒業しましたが、私が学んだ助産婦学校は産科医のお産の補助をする、つまり産科看護婦のような教育でした。当時1955年から1973年まで日本の高度成長期です。病院のお産は数が多くて大変でした。まるでお産がベルトコンベヤで次から次に運ばれてくる様に多かったのです。そんなお産で大切なのは、赤ちゃんとお母さんが間違わないように細心の注意が必要でした。赤ちゃんの足には番号と名札をお母さんの手にも母親の名札を付けます。確認に確認でした。



赤ちゃんとお母さんが間違わないように細心の注意が必要でした。赤ちゃんの足には番号と名札をお母さんの手にも母親の名札を付けます。確認に確認でした。

本来お産は自然です。産婆の時代は産婆が自然なお産を自宅で行っていたのです。戦後お産は医師が病院で医療器具を使い医師主導になり、ガラリとお産が変わってきたと思います。私は病院で医師の補助をする助産婦として養成させられたのです。病院で医師はお産を人工的に、また男性の医師があまりにも自然に逆らうようなお産をしていました。お産は女性にとって幸せで有るべきです。しかし残念ながら病院の医療の中での忙しいお産は女性の幸せなお産は出来ないのです。また助産婦はまるで女工哀史の様に働きました。夜勤の時、二人の若い助産婦は10人のお産を取り上げるため一晩中走り回っていたことを思い出します。そんな病院でのお産を私は反省したり疑問に思うことをしなかったのです。



私自身が40歳で自然なお産を体験しなければ今まで行ってきた病院のお産に疑問を持たなかったかも知れません。

吉村正医師との出会い

私は40歳で畳の上で、吉村正医師のところで自宅風のお産を経験しました。私にとってそのお産は目から鱗でした。今まで病院でのお産に納得がいかなかったのが分かったのです。



私は自然のお産のために身体の訓練をするため朝夕2時間歩き、家では300回のスクワット、家の床を毎日水拭きしました。吉村医師はなんの薬も使わず自然のお産をするのです。彼は妊婦に日々の体の訓練を奨励します。一番悪いのは「ビクビク、パクパク、ゴロゴロ」です。彼は健診の時も、妊婦に「メッチャ歩いて」と必ず言いました。「昔の女は日々重労働をして、お産の時は安産の人が多かったようである。」と言っていました。現代の女性は車など使い歩くことは少なく、身体を鍛えることもほとんど無く、体ができていない。そんな人は自然な体になっていないので、妊娠してからでもいいので体を鍛えてほしいと、彼は常に言っていました。



私はまさにこれは「人事を尽くして天命を待つ」ということと実感しました。

私は長い間、病院でのお産がとても嫌だったので。産後の母親が赤ちゃんを抱いて退院する時、幸せなはずなのに、異口同音に「二度とお産は嫌だ」と言って帰って行きました。その時私はそれがどうしてだかわかりませんでした。今、病院のお産を思い出してみたら、お産がまるで人間のお産でなく、物扱いのお産です。赤ちゃんは新生児室でミルクをラップ飲みにされ、時間になると長いストレッチャーのような車に20人ぐら



いの赤ちゃんが乗せられ病室のお母さんのところに運ばれます。そこで赤ちゃんはお母さんの母乳を飲んでもらいたいのですが、新生児室でもミルクを与えられているのでお腹がいっぱいです。授乳のためにお母さんの胸元に抱かれてもすやすや寝て、お母んの母乳を飲むどころではありません。授乳のためにお母さんはどの様にして赤ちゃんの目を覚ませるか悪戦苦闘です。なかなか赤ちゃんは起きません。助産婦はそんな時赤ちゃんの背中を少しさするのです。すると赤ちゃんは火がついた様に泣きます。その時お母さんは赤ちゃんが大きな口を空いた瞬間に乳首を赤ちゃんの口に入れるのです。すると赤ちゃんはお母さんのおっぱいを一瞬飲んでくれますが、しかし眠い赤ちゃんはしっかり母乳を飲んでくれずに再びねむってしまうのです。飲み残したおっぱいで乳房はカチカチになり、母親は熱を出したり、乳腺炎になったりする方もいます。母乳のケアは助産婦の仕事なのですが、人手不足でできません。母親は育児不安を持ちながら退院していったのです。



* 次号4月号に続く *

3月の予定

- 3日(日)8:00 ~ 太郎坊に登る会
- 5日(火)10:30 ~ マミーハウス
- 6日(水)10:30 ~ ベビーママヨガ
- 8日(金)10:30 ~ こそだてパンザイ
- 9日(土)13:30 ~ しあわせお産相談会
- 10日(日)10:00 ~ 「工藤勇一先生の講演録画を見る会」
- 11日(月)10:30 ~ ベビーマッサージ
- 14日(月)10:30 ~ ぬぬの会 (参加者対象にランチ会)
- 16日(土)10:30 ~ 「1%の風景」上映会
13:30 ~ お産塾[お産について]
- * 18日(月)10:00 ~ ちちまぜチャンプルな居薪 猿の群れ/八幡
同場所で PM ~ 「1%の風景」上映会
- 19日(火)10:30 ~ セルフ整体トレーニング 産後
13:00 ~ セルフ整体トレーニング 産前
- 23日(土)13:30 ~ 八幡ママパパレッスン
(はちび広場)
- 26日(火)10:30 ~ すっぴんまんぷく会
- 28日(水)9:00 ~ 鍼灸の日



